HAKOFV-100

ヒーティングマシン

取 扱 説 明 書

このたびは、ハッコーFV-100をお買い上げいただき まことにありがとうございます。

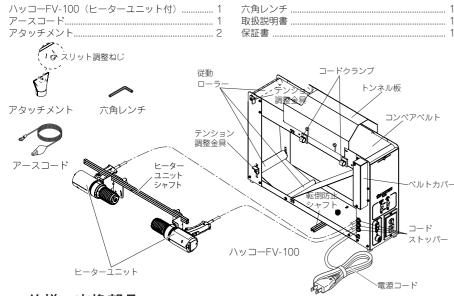
この説明書をお読みになり、正しくお使いください。

また、お読みになった後も、後日お役に立ちますので、大切に保管しておいてください。

⚠ 警告

人体や製品に損傷を与える危険性のある場所には警告・注意文を表示 しています。表示が外れた場合は再度表示し直してください。

1. セット内容 まず最初にセットの内容をご確認ください。



2. 仕様・交換部品

品 名	FV-100
消費電力	1400W

●ステーション

• / / / = /			
電源	AC100V		
炉内寸法	134 (W) × 83 (H) × 240 (D) mm (最小)		
W M J A	134 (W) × 110 (H) × 240 (D) mm (最大)		
外形寸法	188 (W) × 481 (H) × 593 (D) mm (ヒーターユニット除く)		
重 量	10 kg		
コンベア速度	0~65 mm/s (50Hz)		
	0~80 mm/s (60Hz)		
コンベアベルト	メッシュベルト		

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

※各言語(日本語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語)の取扱説明書は以下のURL、

HAKKO Document Portalからダウンロードしてご覧いただけます。 (商品によっては設定の無い言語がありますが、ご了承ください。)

各國語言(日語、英語、中文、法語、德語、韓語)的使用説明書可以通過以下网站的HAKKO Document Portal 下載參閱。

(有一部分的產品沒有設定外語對應、請見諒)

Instruction manual in the language of Japanese, English, Chinese, French, German, and Korean can be downloaded from the HAKKO Document Portal. ise note that some languages may not be available depending on the product.)

https://doc.hakko.com/?l=ja

3. 安全及び取扱い上のご注意

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。内容をよく理解さ れてから本文をお読みください。

↑ 警告:誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

↑ 注 意:誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される

●安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠警告

取扱いを誤ると、やけど・火災の恐れがありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

レーターユニット

- ●火薬、引火性のあるガスや材料の近くで使用しないでください。
- ●ヘアドライヤーとして使用しないでください。
- 人体・動物などに向けて使用しないでください
- パイプなどの金属部分や熱風に触れないでください
- 使用中や使用直後はヒーター周辺部に触れないでください。
- ●水中や水につけたり、水をかけたりしないでください。

- ●電源プラグは、100V-15A以上のコンセントに直接差し込んでください。延長コードなどは決して使用しない。
- ●アース端子に付属のアース線を取付け、アースをとって作業する。
- 事落下など強い衝撃を与えない。
- 部品交換時や収納時は必ず電源を切り、十分に冷えたことを確認する。
- 定期的(6ヶ月~1年毎)に掃除を行う。
- 部品交換や修理の時は必ず電源プラグを抜き、冷却されてから行ってください。
- ●電源コードが断線した場合は、危険を避けるため、メーカーもしくはサービス代理店、同等の資格 がある人に交換してもらう必要があります。
- 修理技術者以外の人は絶対に分解・修理は行わないでください。また改造は行わないでください。
- ●管理責任者の許可なく、経験や知識のない者 (子供を含む) が、この製 品を使用しないように注意してください。
- ●子供がこの製品で遊ばないように注意してください。

事故や故障につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 注 意

ヒーターユニット

- ●指定電圧以外では使用しないでください。
- ●使用中や使用直後にヒーター周辺部に触れたり燃えやすい物に近づけないでください。
- 損傷の恐れがあるので、衣類の乾燥などに使用しないでください。
- 噴出し口や吸入口を塞いだり、内部に異物を入れたり、ホコリや熱風を吸い込ませないでください。 予供や幼児の近くで使用しないでください。安全のため、安全手袋、安全ゴーグル、耳栓、安全帽などの安全保護具を必要に応じて着用し、使用してください。

- ●必ず目の届く範囲で使用し、定期的に安全確認を行ってください。
- ●通電したまま、床上や机などに放置しないでください。 ●雨が降っている中や、湿った場所で使用しないでください。
- 高温多湿地域や高地、寒冷地では十分な性能が発揮できない場合がありますので注意してください。

- ■本機の使用目的以外に使用しないでください。
- 粉塵が充満している、常温でない、温度が高い場所や熱に弱い敷物の上で使用しないでください。
- ●本品を改造しない。
- ●水につけたりぬれた手で使用しない。 製品表面及びコンベアベルトなどは高温となり、取扱いに十分注意する。
- ●プラグの抜き差しはプラグを持って行う。
- ■コンベアベルト下部の製品設置面は高温にさらされます。設置場所にはこの点を配慮する。
- その他危険と思われる行為は行わない。
- ●水平な面を持つ適切な作業台の上に設置してください。
- ●電源の開閉は頻繁に行わないでください。
- ●電源コードやプラグが痛んでいる、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。
- ●濡れた手で触ったり、コードや本体を濡らして使用しないでください。
- ●本品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- ●トンネル板を持った状態で持ち運ばないでください。
- 交換部品には、純正部品を使用してください。
- ●作業場所から離れる場合は、必ず電源プラグを抜いてください。
- ●コードの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。
- ●電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- 作業終了後は必ずヒーターユニットスイッチをCOOLに切り換えて5分以上クールダウンしてください。
- 幼児の手の届かない所に保管してください。 ●修理技術者によって点検、部品交換を定期的に行ってください。
- その他危険と思われる行為は行わないでください。

MAK

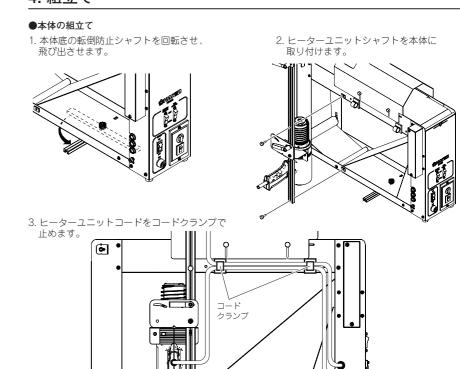
白光株式会社

https://www.hakko.com

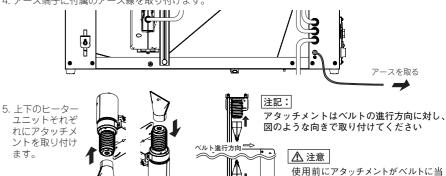
-〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号 TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821

2021 7 MA02689XZ210705

4. 組立て

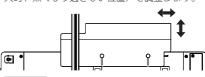


4. アース端子に付属のアース線を取り付けます。



5. 使用方法

- 1. 電源プラグをコンセントに差します。
- 2. シュリンクする品物に合わせて、トンネル板の高さ(品物がトンネルを通る高さ)・位置(品物の投 入時、熱くなり過ぎない位置)を調整します。



⚠ 注意

品物がトンネル板に当たらないよう注意してください。

3. シュリンクする品物に合わせて、ヒーターユニットの高さと角度を調整します。

注記:

_____ 真下よりトンネル内も加熱されるように、トンネルに向けて少し角度をつけ るときれいにシュリンクされます。

4. 電源スイッチを "ON" にします。

- 5. コンベアスイッチを "RUN" にします。
- 6. コンベアスピードの調整を行ないます。
- 7. ヒーターユニットスイッチを "HOT" に切り替えます。
- 8. 十分予熱されるまで5分以上待ち、シュリンクを行ない

作業終了後

- 風運転を行ないます。
- 2. コンベアベルトのスイッチを "STAND-BY" にします。
- 3. 電源スイッチを "OFF" にします。



たっていないことを確認してください。

© 2015-2021 HAKKO Corporation, All Rights Reserved.

5. 使用方法

使用中ヒーターユニットやトンネル板は高温になります。トンネル板の位置、ヒーターユニットの高さや角度、アタッ チメントのスリット等の調整を行なう際は電源を落とし、各部が冷却されていることを確認してください。

初めてシュリンクする時は・・・

- ●ヒーターユニットの高さはアタッチメントの先端が品物から10mm程度離します。(距離の調整はヒーターユニ ットシャフトに付いている目盛を目安としてお使いください。)
- ●ヒーターユニットの角度は上下ヒーターユニットからの熱風がトンネル板内を通り抜ける角度にします。(動か) した時に品物の投入側で空気が流れてくるのを感じるように調整します。)
- トンネル板は品物が接触せずに通り抜けるぐらいの高さで、品物が投入し易い位置にします。
- ●コンベアスピードの目盛は中央に設定しておきます。
- ●品物を中央に置きます。(操作パネル面に印刷されている印を目安にします)

しわが残る、収縮が不十分な場合

- ●収縮が不十分な側のヒーターユニットを品物に近づ けます。
- ●コンベアスピードを遅くします。
- ●収縮が不十分な側のアタッチメントのスリット調整 ねじを緩め、エアー量を増加させます。
- ●ヒーターユニットの角度を傾け、トンネル内で十分 に予備加熱されるようにします。

フィルムが破れる場合

- ●破れた側のヒーターユニットを品物から遠ざけま
- ■コンベアスピードを速くします。
- ●収縮が不十分な側のアタッチメントのスリット調整 ねじを絞り、エアー量を減少させます。
- ●ヒーターユニットの角度を浅くし、過剰加熱を防ぐ ようにします。

6. メンテナンス

▲ 警告

ベルトのどこかが

本体と接触しない

部品交換を行なう際は電源スイッチを切り、電源コードを抜いて行なってください。

●コンベアベルトの調整

コンベアベルトが片側に寄った場合

- 1. コンベアベルトを動かしながら付属の六角レンチ で上部のテンション調整金具のねじを緩めます。
- 2. テンション調整金具をスライドさせ、コンベアベ ルトの位置を調整します(調整金具を手前に引く とベルトが左寄りに、奥に押すと右寄りに移動し ます)。
- 3. テンション調整金具のねじをしめます。
- 4. 運転してベルトのどこかが本体と接触していない ^{よう調整} か確認します。

- **上記調整を行なっても直らない場合**1. コンベアベルトを動かしながら付属のレンチで 寄っている側の下部のテンション調整金具のね じを緩めます。
- 2. 緩めた側のベルトに少し強めのテンションをか けるよう、テンション調整金具をスライドさせ ます。
- 3. テンション調整金具のねじをしめます。 4. 運転してベルトのどこかが本体と接触していな

コンベアベルトのテンションが弱くなった場合

- 1. コンベアベルトを停止させ、付属の六角レンチで下部のテンション調整金具のねじを緩めます。
- 2. 左右両方のテンション調整金具の高さが同じになるように従動ローラーを押し下げます。左右の高さを 合わせるためにはテンション調整金具横の目盛を目安としてください。
- ※品物の自重でベルトがアタッチメントに接触しない程度、また操作中に品物がベルト上で跳ねない 程度(跳ねる場合テンションがかかり過ぎです)にしてください。
- 3. テンション調整金具のねじをしめます。
- 4. 運転してベルトのどこかが本体と接触していないか確認します。

配線カバー

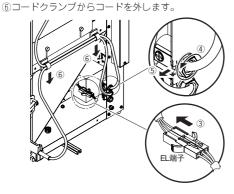
もしベルトが片側に寄る場合は「コンベアベルトが片側に寄った場合」の手順に従って調整を行なってください。

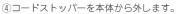
●ヒーターユニットの交換

- ①配線カバーのねじ(2ヶ所)を外します。 ②配線カバーを外します。

いか確認します。

③EL端子を外します。

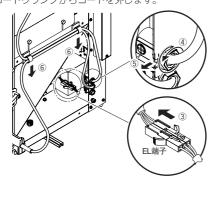




⑤コードストッパーごとヒーターコードを本体から 外します。

左右どちらかのテンション

調整金具をスライド





⑦ヒーターユニットからアタッチメントを外します。 ⑧ヒーターユニット固定パンドのねじを外し、固定パンドを 外します。

⑨ヒーターユニットを取り外します。

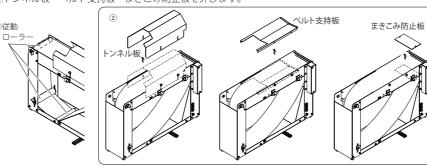
新しいヒーターユニットを用意し、取外しと逆の手順で取り 付けていきます。

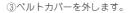


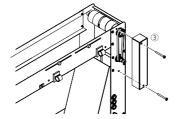
●コンベアベルトの交換

①従動ローラーを3本外します。

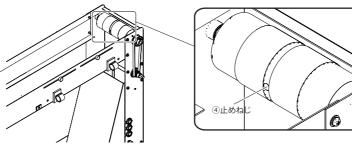
②トンネル板・ベルト支持板・まきこみ防止板を外します。



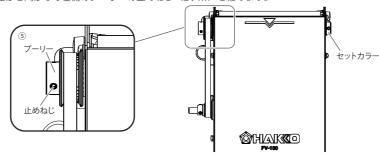




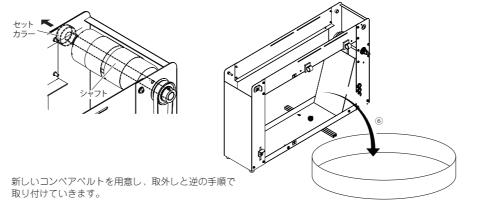
④ローラー中央の止めねじを緩めます。



⑤正面から向かって左側のプーリーの止めねじ(2ヶ所)を緩めます。



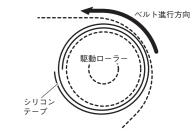
⑥セットカラーを持ってシャフトと一緒に引き抜き、ベルトを取り外します。



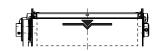
6. メンテナンス

⚠ 注意

- ・プーリーとセットカラーを本体にぴったり付けた状態で 止めねじをしめた場合、使用中に本体とこすれて音が鳴 ります。本体からわずかに浮かせた状態で止めねじをし めてください。
- ・駆動ローラーにはシリコンテープが巻いてあります。 ローラーの向きを間違えると、ベルトにテープが巻き込 まれ剥がれてしまいます。ベルトの進行方向とシリコン テープの巻き方向が右のイラストと同じになるよう、向 きを注意して駆動ローラーを取り付けてください。



駆動ローラーのねじ穴を操作パネル面の上部の印に合わせること で、ローラーがシャフト中央に来るようになります。

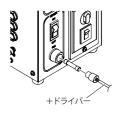


取付け後、ベルト位置やテンションのかかり具合の調整を行なう必要がありま す。その際、最初に上部テンション調整金具の溝を基準ポイントに合わせてお くと基準が分かり易くなります。

コンベアベルトの調整の仕方は「●コンベアベルトの調整」を参照ください。



●ヒューズ交換方法



- 1. ヒューズホルダーからヒューズを引き抜きます。
- 2. 新しいヒューズと交換します。
- 3. 元通りに組立てます。

7. トラブル発生時に

症状	原因	処置			
ヒーターユニット	ヒーターが切れていませんか				
が熱くならない	ヒーターユニットコードが断線して	ヒーターユニットを交換			
	いませんか				
動作しない	ヒューズが切れていませんか	ヒューズを交換			
コンベアベルトが		コンベアベルトを交換			
切れた		コンベアベルトを交換			

8. 交換部品



●ハッコーFV-100

図番	品番	部品名	什様
1	A5014	アタッチメント	1—13
2	A5015	コンベアベルト	
3	B1572	ヒューズ	125V 15A
4	C5008	ヒーターユニット	